



【写真】ドリンクコーナーでのおしゃべりを通じて「ふれあう」ふれあいセンターの利用者と職員。

シニアになったら行ってみたい場所がここにある。

## シニアの憩いの場所 ふれあいセンター

和52年から上富でシニアの憩いの場として運営していたふれあいセンター。平成28年10月に長年親しんでいた上富の地を離れ、新たに北永井の活動拠点を再スタートを切りました。

### 気軽に立ち寄れる場所

新たなふれあいセンターは誰もが「気軽に立ち寄れる場所」をめざしました。ドリンクコーナーや会話ができる空間を作ることで、お茶を飲みながら会話を楽しみ、自然とコミュニケーションができて、そこに「ふれあい」が生まれます。

また、センターの職員は積極的に利用者と会話するように心がけています。これは親しみのある環境を提供することで、何度も足を運びたくなる「ふれあ

い」のあるセンターとなつてほしいからです。

### ふれあいの場

再出発してから1年が経過した今、利用者からは「明るい雰囲気になった」「ここで出会った他の利用者と仲良くなった」という声を聞くことができました。まさに「ふれあいの場」として生まれ変わったということができるでしょう。

管理者の齋藤喜宣さん(40)は「移転前と比べて毎月の新規利用申し込み数が増え続けています。利用者が口コミなどで魅力を発信してくれているおかげです」と話します。

まだ生まれればかりでこれからも成長を続ける新生ふれあいセンター。皆さんも利用してみたいかがでしょうか。

# あい ふれ愛・ささえ愛

「支えられる」だけでなく、「自分らしく」「人のため」に暮らすこと。今月は「ふれあい」と「支え合い」のコミュニティを特集します。

### 埼玉県内の高齢化率 (平成29年1月1日現在)

埼玉県全体	25.0%
朝霞市	19.0%
所沢市	25.6%
富士見市	23.9%
ふじみ野市	24.4%
三芳町	27.0%

→三芳町は近隣市町村と比べても高齢化が進んでいることがわかります。

**現** 在の日本では、超高齢社会を迎え、医療費や介護サービス費の増加など、高齢者をどのように支えていくのが大きな課題となっています。

### 三芳町のコミュニティ

三芳町の高齢者は、朝早くにマンションの前の道路を掃除している人、子どもたちの安全を見守っている人など、自分で行うことは自分で、時には人のために活動している人が多いことに気づきます。

自分ひとりでこのような活動をするには勇気が必要で、なかなか踏み出すことができないかもしれません。しかし、三芳町には同じ志を持った人がたくさんいて、コミュニティを作ることができるようになります。気軽に来ることができると、コミュニティで仲間を作り、できることから始めてみてはいかがでしょうか。

今月の特集は「ふれ愛・ささえ愛」。三芳町のふれあいと支え合いのコミュニティをご紹介します。

### ふれあいセンター利用案内

▶利用時間：(月～土) 9:30～16:00

▶休館日：日曜日・国民の祝日・12/28～1/4

▶対象：町内在住の60歳以上

～利用内容の一例～

【いきいき教室】

▶料理教室：第1火曜日 10:00～13:00

▶書道教室：第2火曜日 10:30～12:00

▶メンタル健康体操：第4火曜日 10:10～11:00

▶歌声喫茶：第1金曜日 10:30～12:00

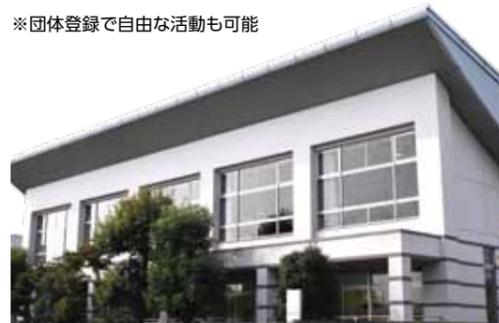
【健康機器】

▶ヘルストロン：クリニック等で使用されている電位治療器が

無料で利用可能

▶マッサージ器：医療機器認証のマッサージ器が誰でも体験可

※団体登録で自由な活動も可能



「気軽に立ち寄れる場所」をめざして。



### 齋藤 喜宣 さん(40)

さいとう・よしのぶ ●現ふれあいセンター管理者。三芳町社会福祉協議会所属。「ふれあいセンターを気軽に立ち寄れる場所に」をコンセプトに、利用者が楽しく過ごすことができるセンターの運営を心がけている。利用者とおしゃべりするのが好きで、「自身も楽しみながら仕事をする」を大切にしている。